

岩手県医療的ケア児支援センター

相談窓口 業務報告書

令和 5 年 8 月 2 4 日(木)

社会福祉法人新生会 みちのく療育園メディカルセンター内
岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口

管理責任者 小山 耕太郎

医療的ケア児等コーディネーター 大力 聡美

事務員 小笠原 綾子

岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口 業務概要

以下のアからケに関する業務を行うこと。なお、これらに附随した業務も担うこと。

ア	医療的ケア児及びその家族から受け付けた相談に係る、市町村や相談支援事業所等に所属する医療的ケア児等コーディネーター等の地域の支援の支援担当者への取り次ぎ及びフォローアップ
イ	県内の市町村、医療機関、保健センター、障がい福祉サービス事業所、保育所・幼稚園、学校、医療的ケア児・者の家族会、地域の自立支援協議会等の関係機関及び団体への情報提供、連携・相互の支援、専門的なサポート、コンサルテーション等の関係機関支援
ウ	医療的ケア児及びその家族に対する相談受付、助言、活用可能な社会資源等の情報提供
エ	必要に応じた新生児集中治療室（NICU）又は新生児回復治療室（GCU）が開催するカンファランスへの出席及び情報提供を通じた在宅移行支援
オ	必要に応じた地域の医療的ケア児支援に係る協議の場への参加による、地域の現状・課題把握、専門的な情報提供及び助言
カ	関係機関等及びその従事者向け研修・啓発セミナーの企画・調整等
キ	県内における外部主催の各種研修への対応（講師・参加等 ※印はオンライン）
ク	県内における家族等交流会の企画・調整
ケ	県主催の運営協議会への参加

※留意点

市町村をはじめ、地域における関係機関の対応力が向上し、相談支援体制等の充実・強化が図られるよう、支援や助言を行うこと。

【受託業務報告】

(ア) (ウ) 相談支援業務：令和4年9月15日～令和5年7月31日実績
その他、主催事業や研修等：令和4年9月15日～令和5年8月24日実績
(令和5年8月25日周知予定事業を含む)

(ア) 医療的ケア児・家族からの相談の地域の支援者への取り次ぎとフォロー

(ウ) 医療的ケア児及びその家族からの相談受付・助言・活用可能な社会資源等の情報提供

1. 相談業務（別紙1、2参照）

- ・令和4年9月～令和5年7月までの相談件数
延べ相談件数：268件（ご家族から59件、支援者から209件）
（新規83件、継続185）
※2回目以降の同じ依頼者、対象者の相談は「継続」
※令和5年度より「個別支援集計」と「支援者支援集計」を分けた
※個別支援の継続は前年度からの継続支援も含む
- ・1か月あたりの平均相談件数：約24件
- ・支援者からは一度の対応で終了する質問のみの相談も多い。
- ・新規相談受付に対し未解決のケースが多い。理由としては長期に介入せざるを得ず、解決に至っていないことや、社会資源が乏しく希望するサービスにつなげることが困難な場合があるため。
- ・自宅訪問は令和4年度2件に対し、令和5年度は11件と増加傾向。大学病院等からの在宅移行支援のためご自宅へ訪問するケースが多い。
- ・他機関へ回送できたケースは8件。他機関と一緒に対応したのは97件。コーディネーターが自治体や圏域に配置されていない事や、伴走型支援者支援をしているため他機関と一緒に対応したケースが多い。
- ・相談内容の内訳：
在宅移行44件、日常生活34件、医療71件、保健6件、福祉56件、保育15件、
教育21件、就労0件、障がい者団体4件、災害6件、施策関係6件、その他5件

2. 医療的ケア児のための就学・進学説明会（岩手県教育委員会共催）

目的：①特別支援学校や普通校（普通級・支援級）の説明と就学進学までの過程、早期相談のあり方について説明することで、教育制度や地域資源への理解を深める。

②就学進学を控えている児を地域の支援者が事前に把握することにより、就学進学を進めるための支援体制を構築する。

開催日・開催地：令和5年 6月 1日(木) 宮古市 宮古地区合同庁舎
 6月 13日(火) 盛岡市 ふれあいランド岩手
 7月 11日(火) 奥州市 奥州地区合同庁舎
 7月 19日(水) 二戸市 二戸地区合同庁舎
 7月 26日(水) 釜石市 釜石PIT
 8月 8日(火) 花巻市 花巻市交流会館

計6回（教育事務所管轄ごとに開催）

参加者：計75名（お子様4名、保護者18名、市町村配置コーディネーター13名、教育関係者5名、教育以外の支援者33名、マスコミ2名）

振り返り：岩手県教育委員会と共催できたことが最大の成果であった。教育関係者や行政職員、地域の医療的ケア児等コーディネーターの方に多く参加いただいた。

会場で支援者同士がつながることができ、顔が見える関係性が構築できた。

また、早い段階からご家族にも就学までの過程を知っていただくことで、当事者、支援者ともに余裕を持って準備を進められるのでは、と感じた。

まずその「お子さんの力を一番伸ばせる相応しい学びの場」を考えて、そのうえで就学先を選択することの大切さについて教育委員会より各会場で説明があった。

教育・福祉それぞれの立場でできることを共有しあうことで、支援者の中にある「医療的ケア児は支援学校へ」という固定概念を変えていきたい。

令和5年度

医療的ケア児のための 就学・進学説明会

ハイブリッド開催
各会場×ZOOM

【対象者】
主に就学・進学を控えている医療的ケア児とご家族

・ICCC（岩手県医療的ケア児等コーディネーターネットワーク）加入の医療的ケア児等コーディネーター、及び市町村教育委員会等の教育関係者等のオンライン視聴があります

※申込方法等、詳細は裏面

会場ごとに対象地域内の特別支援学校の紹介を致しますので、お聞きになりたい地域の日時でお申込みください

【開催日時・会場等】
14時～15時45分

日時	会場	対象地域	会場定員	申込締切
6月1日(木)	(宮古市) 宮古地区合同庁舎1階会議室A・B	宮古市・山田町・田野畑村・岩泉町	20名	5月11日(木)
6月13日(火)	(盛岡市) ふれあいランド岩手2階第2会議室	盛岡市・八幡平市・滝沢市・雫石町・葛巻町・岩手町・新巻町・矢野町	50名	5月23日(火)
7月11日(火)	(奥州市) 奥州地区合同庁舎2階第2会議室	奥州市・金ヶ崎町・一関市・平泉町	20名	6月20日(火)
7月19日(水)	(二戸市) 二戸地区合同庁舎2-A会議室	二戸市・秋田町・九戸町・一戸町・久慈市・洋野町・野田村・鹿代村	20名	6月28日(水)
7月26日(水)	(釜石市) 釜石PIT会議室1・2	大船渡市・陸前高田市・釜石市・住田町・大槌町	20名	7月5日(水)
8月8日(火)	(花巻市) 花巻市交流会館第4研修室	花巻市・北上市・遠野市・西和賀町	20名	7月18日(火)

主催：岩手県医療的ケア児支援センター 共催：岩手県教育委員会
 【問い合わせ】岩手県医療的ケア児支援センター（みちのく療育支援メディカルセンター内）
 電話 019-611-0610 メール shen@icare-iwate.jp

医療的ケア児の就学・進学に関する
「ながれ」をわかり易く伝えます

Q 相談はいつから始めるの？
 入学先はいつ決まるの？
 特別支援学校と学区の小・中学校の違いは？
 地域の医療的ケア児等コーディネーターはどこにいるの？
 就学の時コーディネーターはどんなお手伝いをしてくれるの？



保護者の皆様からの疑問にお答えします

「学校のことはまだまだ先なのかな」と思っている方にもお聞きいただきたい内容ですのでお気軽にご参加ください
 各会場ごとに、地域の学校情報、地域の相談窓口を紹介いたします
 お子さんの入学にイメージがついている方は、入学させていただいた地域の会場でご参加ください

教育

岩手県教育委員会共催事業



1. ICCC事業 (Iwate Care Coordinator Collective)

目的：令和1年度に始まった医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者は令和4年度で171名いるが、実務に携わっている者が少なく、業務をするうえでもコーディネーター同士の横の連携が取れていない実情がある。そのため、修了者を対象としたネットワーク (ICCC) を構築し、①情報提供と②知識や技術の向上の2点に取り組むことを目的とする。

内容：①情報提供 (岩手県医療的ケア児等コーディネーター向けのメール配信サービス)
②岩手県医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者向け勉強会

【第1回ICCC勉強会】

題目：「多職種連携と地域を耕すこと～東松山市の事例を通じて～」

講師：社会福祉法人東松山市社会福祉協議会 東松山市総合福祉エリア
相談支援専門員 田口 純子 氏

目的：埼玉県東松山市の市社協や自立協など地域の様々な事業所が、連携・協働し、地域づくりをしている様子から、多職種や事業所の立場の違う方々がどのように連携体制を構築しているのかを学ぶ。また、全国で初めて就学委員会を廃止し、障害があっても希望の学校へ入学できるようにした東松山市が、何を目標にインクルーシブ教育を掲げ、どのような経過を経て現在に至っているかを知る。

内容：東松山市の紹介 (ノーマライゼーションの町づくり、自立支援協議会)
就学支援委員会廃止に伴い、整備したサポート体制 (就学支援シート・巡回相談)
具体的事例を通じて
児童発達支援センター整備についての東松山市の準備と考え方
現在の東松山市の様子と課題
質疑応答

日程：令和5年6月24日(土)

参加者：18名

自治体配置の医療的ケア児等コーディネーター 8名
こども園、訪問看護ステーション、療育施設等所属看護師 4名
相談支援事業所所属相談支援専門員 3名
その他 3名

振り返り会：令和5年7月13日(木)10時～11時半

研修受講者にも参加いただき、日頃の悩みや思いを講師と共有する場とした地域のコーディネーターが抱える思いや同じ立場の方と話ができる場を作る事が大切と感じた。

課題：医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者171名のうち、受講者は18名 (運営側スタッフかつ、ICCC加入者は参加者の他に4名) 受講者の状況やニーズをセンター内で把握し今後の研修に反映させる必要がある。

岩手県医療的ケア児等コーディネーター
ネットワーク
ICCC ホームページ開設のご案内

ICCC（岩手県医療的ケア児等コーディネーターネットワーク）専用のホームページが開設されました。ホームページへの掲載事項は下記の通りです。
まだ ICCC に加入されていない方は、ICCC について知りたいと考えている方はぜひご覧ください。皆様の積極的な活用を心からお待ちしております。

【ホームページURL・QRコード】

https://www.pref.iwate.jp/kuwashikankyou/fukushi/shousai/kokoro/1061719.html



【ホームページ掲載事項】

- ・ICCCへの加入・脱退・各種変更手続き
- ・活動報告

【ICCC加入コーディネーターへの情報提供】

- ・岩手県医療的ケア児支援センターからの情報発信（HPには掲載しない事項もメール配信予定）

・研修（ICCC加入者対象）

- 令和5年度はZOOM研修2回、圏域ごとに対面研修を1回予定

※来年度初めの研修は6月に実施予定です。

研修のご案内を希望する方は、3月末までのご加入をお勧めいたします

【問い合わせ先】

岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口 担当 小笠原
電話 019-611-0610（直通 080-8898-5339）
メールアドレス collective@icare-iwate.jp



多職種連携と
地域を耕すこと
～東松山市の事例を通じて～



日時

2023年6月24日（土）
13時半～15時半

対象

ICCC加入医療的ケア児等
コーディネーター養成研修修了者

場所

ZOOM

申込

右上のQRコードより
お申込みください



田口 純子（たぐち じゅんこ）氏

- ・社会福祉法人東松山市社会福祉協議会 東松山市総合福祉エリア 相談支援専門員
- ・令和元年度 厚生労働省 障害者総合福祉推進事業検討委員会委員

プロフィール

東京都生まれ。1987年 社会福祉法人員が運営する通園施設に児童指導員として入職
同法人のレスパイト事業や地域の巡回事業に関わる
2007年より東松山市社会福祉協議会総合福祉エリアにて相談支援専門員として勤務
現在に至る

主催 岩手県医療的ケア児支援センター

問合せ先 岩手県医療的ケア児支援センター（みちのく療育園メディカルセンター内）
事務局 小笠原 019-611-0610 collective@icare-iwate.jp

2. 公式LINE

目的：医療的ケア児とそのご家族に直接・素早く・正しい情報を届ける

内容：①岩手県医療的ケア児支援センターの事業情報

②岩手県からの関連情報

③自治体・支援者・家族会からの関連情報

登録者：令和5年8月18日現在 225名

令和5年4月
配信スタート

岩手県 医療的ケア児支援センター 公式 LINE

岩手県医療的ケア児支援センター公式LINEでは
医療的ケア児・者とその保護者の方向けの
情報を発信いたします

※ 「岩手県医療的ケア児支援センターソーシャルメディアポリシー」に基づき運用いたします
※ 掲載内容は、医療的ケア児支援センターの基準に従い決定いたします
※ 岩手県医療的ケア児支援センター公式LINEは個別の相談・問合せには対応しておりません

LINE 公式アカウント

お友だち追加は
こちらから

【お問合せ先】
岩手県医療的ケア児支援センター相談窓口
電話 019-611-0610 メール shien@icare-iwate.jp

【岩手県医療的ケア児支援センター】
■センター業務統括 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課
■相談支援等業務受託機関 社会福祉法人新生活会
■医療的ケア児等コーディネーター研修業務受託機関 社会福祉法人 岩手県社会福祉事業団

主催事業の他、リトルベビーハンドブックや療育キャンプ等県からの情報、親の会の告知やイベントや勉強会等、各種団体等からの情報等掲載

★ RYOIKU CAMP ★

療育キャンプ
わくわく！どきどき！の交流会

○8月11日（金）
11:30～15:30（受付11:00～）
○ふれあいランド岩手ふれあいセンター4号（盛岡市本町1-1-3）
○対象 身体不自由と重度知的障がいを持つ在宅のお子さん
大人（10名程度）と家族、支援者

お子さんの部	ご家族の部
12時～13時 ○お弁当を食べてください	○お弁当を食べてください
13時～15時 ○お話を聞いてください ○お話を聞いてください ○お話を聞いてください	○お話を聞いてください ○お話を聞いてください ○お話を聞いてください

○参加申込 QRコードをお読みください
○参加費 1,000円（お弁当と参加費含む）
○持ち物 治療情報、お持ち物情報、お持ち物情報
○問合せ先 岩手県医療的ケア児支援センター 019-611-0371-7636

EyeMOT GP 2023
7.16 開催

EyeMOT GP 2023 開催のお知らせ
EyeMOT GP 2023 開催のお知らせ
EyeMOT GP 2023 開催のお知らせ

アイライン
岩手の会

アイライン 岩手の会
アイライン 岩手の会
アイライン 岩手の会

(エ) NICU・GCU主催のカンファランス出席、在宅移行支援

1. 小児科合同カンファランス参加状況

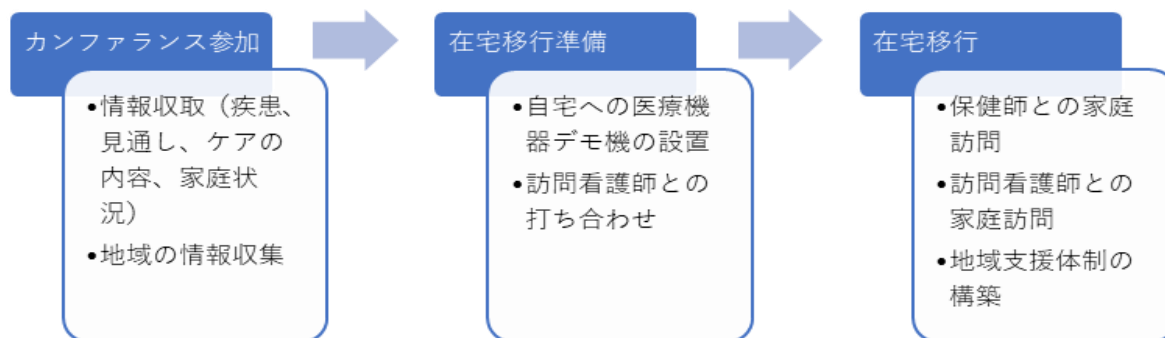
開催日：毎月第1水曜日 13時～

実績：①小児科合同カンファランス後の在宅移行支援を行った件数：5件

(盛岡市1件、八幡平市2件、山田町1件、釜石市1件)

- ②退院後の生活に合わせた福祉用具や生活用品に関する助言
- ③退院前に訪問看護師、業者と自宅訪問し医療機器の設置準備
- ④退院後に保健師や訪問看護師と自宅訪問

2. 小児科合同カンファランスから在宅移行支援への流れ



【メリット】

- ・入院中の早い段階から経過を把握し、長期的にかかわることができる。
- ・当事者支援の開始時から地域の支援者を支援することができる。
- ・支援者同士をつなぐことができる。
- ・地域の課題の把握と介入の仕方についてアセスメントすることができる。

【課題】

- ・コーディネーター配置の地域格差
- ・事業所が違う支援者同士の情報共有ツールがないため、それぞれの情報に違いがある。患者の全体像を把握するための工夫（わたしのサマリー、情報提供依頼書等）の検討が必要。

(オ) 地域協議の場への参加による地域の現状・課題把握・情報提供及び助言**1. 地域の協議の場への参加：29件（令和4年9月～令和5年8月）****【自立支援協議会】 9件**

令和4年	9月20日(火)	気仙地域障害者自立支援協議会 児童部会 医療的ケア児支援推進ワーキンググループ
	10月25日(火)	一関地区障害者地域自立支援協議会 こども部会定例会
		奥州市自立支援協議会 医療的ケア児等支援部会
	10月26日(水)	花巻市地域自立支援協議会 こども支援部会
	11月9日(水)	宮古圏域障がい者自立支援協議会 第4回発達支援部会
11月24日(木)	久慈圏域障害者自立支援協議会 医療的ケア児等の支援に係る関係機関連絡会	
令和5年	1月27日(金)	遠野市地域自立支援協議会
	3月2日(木)	釜石大槌地域障がい者自立支援協議会 医療的ケア児等のみらいを考える会
	7月12日(水)	宮古圏域障がい者自立支援協議会 第5回発達支援部会

【その他地域の協議の場への参加（自立支援協議会以外）】 12件

令和4年	9月27日(火)	矢巾町入園検討会議
	11月1日(火)	紫波地域医療的ケア児等ワーキンググループ
	11月28日(月)	令和4年度第2回盛岡広域圏医療的ケア連絡協議会
令和5年	1月31日(火)	令和4年度第2回重症心身障がい児・者及び医療的ケア児・者支援推進会議
	2月2日(木)	紫波地域医療的ケア児等ワーキンググループ
	3月3日(金)	岩手県内基幹相談支援センター連絡会
	3月4日(土)	いわてチルドレンズヘルスケア連絡会議 運営委員会
	5月25日(木)	紫波地域医療的ケア児等ワーキンググループ
	6月28日(水)	いわてチルドレンズヘルスケア連絡会議 運営委員会
		医療的ケア児・者班打ち合わせ
	7月1日(土)	いわてチルドレンズヘルスケア連絡会議 運営委員会
	7月20日(木)	第1回盛岡市医療的ケア児支援庁内連携会議
7月24日(月)	盛岡市医療的ケア児避難訓練の模擬避難訓練	

【家族会等への参加】 8件

令和4年	10月11日(火)	紫波町 オレンジの会
	10月20日(木)	花巻市 ぼっぼの会
		岩手県重症心身障害児（者）を守る会
10月25日(火)	一関市 ぼけっとの会	
令和5年	2月4日(土)	岩手県重症心身障害児（者）を守る会
	2月25日(土)	宮古圏域自立支援協議会 家族交流会
	3月22日(水)	岩手県重症心身障害児（者）を守る会
	4月6日(木)	アイライン岩手の会

1. 災害時支援のための勉強会

【第1回勉強会】

目的：医療的ケア児の災害時の個別避難計画を立案し、災害対策を進めていく必要がある。

多職種、多機関連携が不可欠な取り組みになるため、自治体の担当職員を支援することを主な目的に勉強会を行い、関係者が同じ認識を持ち一丸となって取り組む体制を構築する。

開催日時：令和5年1月31日(火)

参加者：28名(当日オンライン参加24名、後日データ配信4名)

家族会1名・医療関係者3名・行政関係者22名・教育関係者1名・企業1名

内容：①「災害対策基本法改正」のいま～医療的ケア児・者の災害対策を進める～

講師 岩手県立大学 社会福祉学部 鈴木 あゆみ 氏

②矢巾町の避難訓練に参加して ～当事者の目線～

講師 岩手県重症心身障害児(者)を守る会 副会長 藤村 ゆみ子 氏

振り返り：当事者と防災・福祉・子育てに関わる自治体担当者を中心に今後取り組む課題の共有ができた。

【第2回勉強会(振り返り会)】

目的：第1回災害支援のための勉強会の振り返りを行い、医療的ケア児支援の災害時支援において取り組むべき課題を共有し、具体的な支援につなげる。

開催日時：令和5年3月23日(木)

参加者：13名 行政関係者11名・教育関係者1名・企業1名

内容：①「個別避難計画に取り組んでみて」

講師 岩手県重症心身障害児(者)を守る会 医療的ケア部会長 澤口 るり子 氏

②第1回災害時支援の勉強会振り返り

③意見交換会

振り返り：意見交換会の中で「自分の身に何の危険が迫っているかを一つでもいいから探すことで災害を身近にとらえることができ、マイタイムラインを作成することができた」という声があった。

2. 医療的ケア出張講座（令和5年8月25日周知開始予定）

目的：①実際にモデル人形を用いて医療的ケアを体験することで医療的ケアへの理解を深めてもらう。また、地域で医療的ケア児を受け入れる準備として実技研修を行うことで支援者も安心して受け入れを進めることができる。

②実際に医療機器を装着しながら移動をしてみることで、支援者が具体的にどのような視点で支援を行ったらいのか知ることができる。

また、災害時に避難する際、どのくらい時間がかかるのか等行動指針を決める参考としていただく。

対象：岩手県内の学校・保育園・通所事業所・行政等団体を主な対象者とし、それ以外にも医療的ケアを学びたい方についても対応する。

開催方法：申込者の用意した会場へ医療的ケアモデル人形や医療機器を持参し実技の体験をしていただく。

内容： **A 基礎講習（90分）**

- ・医療的ケアの説明、医療的ケアの体験、質疑応答
実施可能なケア

（経鼻経管栄養・胃瘻からの経管栄養・気管カニューレ管理・吸引・導尿）

B 移動体験講習（180分）

- ・A基礎講習の内容＋医療機器を実際に利用しながらの移動体験

④ 関係機関及びその従業者向け研修・啓発セミナー 医療的ケア出張講座



民間企業協力

ベッドからバギーへ移乗

ヘルパー役の市職員と荷物を積み、お母さんの運転で避難所へ

避難所で機器をセッティングし、発電機で機器の稼働確認

災害時の模擬避難訓練も想定した講習メニューを盛り込み、8月以降周知予定

(キ) 県内における外部主催各種研修への対応**1. 県内研修講師：11件**

※印はオンライン

令和4年	11月14日(月)	※令和4年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修(支援者)
	12月10日(土)	令和4年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修(演習)
	12月11日(日)	
令和5年	1月16日(月)	岩手町医療的ケア児研修会
	1月27日(金)	※遠野市自立支援協議会 医療的ケア研修会
	1月29日(日)	第7回障がいのある子どもと家族のケア研修会
	2月24日(金)	医療的ケア児等コーディネーター フォローアップ研修
	3月12日(日)	令和4年度第2回岩手県医師会小児在宅医療研修
	3月18日(土)	※岩手県看護協会「医療的ケア児に携わる看護職の交流会」
	5月25日(木)	岩手県立大学 社会福祉学部 現在福祉持論B 「自治体の児童福祉行政の実際 岩手県の医療的ケア児支援について」
	6月6日(火)	盛岡広域圏児童発達放課後等デイサービス事業所学習会
	7月27日(木)	岩手県立盛岡となん支援学校 進路研修会

2. 県内研修への参加：18件

※印はオンライン

令和4年	9月25日(日)	※第3回「医療的ケア児支援者のための支援」研修
	10月15日(土)	矢巾町 医療的ケア児等災害訓練
	11月12日(土)	※令和4年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修(支援者)
	11月14日(月)	
	12月10日(土)	令和4年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修(演習)
	12月11日(日)	
	10月23日(日)	訪問看護ステーション協議会「小児訪問看護研修会」
令和5年	1月29日(日)	第7回障がいのある子どもと家族のケア研修会
	2月5日(日)	第4回「医療的ケア児支援者のための支援」研修
	2月12日(木)	令和4年度第1回岩手県医師会小児在宅医療研修
	4月13日(木)	オールインワンVOCSNベンチレーター勉強会
	5月11日(木)	個別避難計画作成に係る市町村担当者研修会
	5月20日(土)	令和5年度「医療的ケア児支援者育成業務」研修(宮古)
	5月21日(日)	※いわて摂食嚥下リハビリテーション研究会 第33回研修会
	5月28日(日)	第5回「医療的ケア児支援者のための支援」研修
	6月10日(土)	※令和5年度「医療的ケア児支援者育成業務」研修(岩手教育会館)
	6月16日(金)	岩手県立大学 防災復興支援センター 設立シンポジウム 「岩手県の防災のこれからと大学間連携を考える」
	6月25日(日)	第8回障がいのある子どもと家族のケア研修会
	7月15日(土)	令和5年度「医療的ケア児支援者育成業務」研修 (岩手県看護協会)
7月28日(金)	令和5年度県立学校医療的ケア体制整備に係る研修会	

3. その他（県外研修への参加等）：23件

・全国組織「医療的ケア児等コーディネーター支援協会」へ加入し研修会へ参加

※印はオンライン

令和4年	10月8日(土)	※ほっこり×ちるふぁ研修
	10月9日(日)	※医療的ケア児等コーディネーター支援協会 研修会
	10月13日(木)	※都立小児総合医療センター小児在宅医療サポートチーム勉強会
	11月12日(土)	※都立小児総合医療センター 子どもへのケアセミナー
	11月13日(日)	※医療的ケア児・者シンポジウムin北信 医療的ケア児の支援についてみんなで話そう
	12月15日(木)	※災害対策セミナー
令和5年	1月11日(水)	※青森小児在宅サポーター勉強会
	1月13日(金)	※医療的ケア児等コーディネーター支援協会 研修会 「医療的ケア児の就労を考える」
	1月22日(日)	※大阪小児在宅医療を考える会 研修会
	1月22日(日)	※第4回九州小児在宅医療支援研究会
	2月10日(金)	※医療的ケア児等コーディネーター支援協会 支援センター部会
	2月15日(水)	※学校で働く看護師の役割研修
	2月24日(金)	※医療的ケア児等コーディネーター支援協会 研修会 「医療的ケア児者を支える事業所加算の活用」
	3月14日(火)	※青森県小児在宅サポーター勉強会 「全国医療的ケアラインについて」
	5月9日(火)	三重大学医学部付属病院 小児・AYAがんトータルケアセンター 三重県医療的ケア児・者相談支援センター 視察
	5月10日(水)	愛知県地域支援センター にじいろ医療的ケア児支援センター 重心施設 にじいろのいえ 視察
	5月11日(木)	愛知県基幹相談 愛知県医療療育総合センター 視察
	5月12日(金)	岐阜県医療的ケア児支援センター 視察
	5月24日(水)	※医療的ケア児等コーディネーター支援協会 研修会 「見落とししていませんか？医療的ケアのある乳幼児への支援体制の整備」
	6月14日(水)	※医療的ケア児等コーディネーター支援協会 研修会 「移行期における医療機器の変換方法の実際」
	7月13日(木)	※医療的ケア児等コーディネーター支援協会 支援センター部会
	7月19日(水)	※第49回埼玉県小児在宅医療支援研究会 「小児の摂食嚥下の極意！」
	7月20日(木)	※国立成育医療研究センター 令和5年度小児在宅医療技術講習会part3 「心疾患を持つ医療的ケア児を理解する」

(ク) 家族交流会の企画・調整等

1. 当事者交流事業医療的ケア児・者の「遊びと語りの場」I care パーク (岩手県子育て支援室協力)

目的：①普段集団で遊ぶことのない子ども達に遊びの場の雰囲気や他の子と出会う場を提供し、楽しんでもらう。

②特に情報が少なく困っている時期の未就学児の親をメインとすることで、保護者同士の繋がりを作り、「話す」ことが出来る場を提供するとともに「相談できる」場も提供する。

内容：地域の子育て支援センター等の場所において遊びを提供しながら、保護者同士の交流を行ったり日頃の悩みを相談する場所を提供する。

午前中の1時間程の時間とし、小さいお子様にも負担のないよう配慮する。

対象：医療的ケア児者と保護者、きょうだい児

各会場5組を上限とする。

開催日・場所：令和5年8月22日(火) 盛岡市 バスセンター子育て支援センター遊びの広場
 9月6日(水) 奥州市 子ども発達支援センター 大・小ホール
 9月20日(水) 紫波町 紫波町社会福祉協議会 和室
 10月5日(木) 宮古市 うみまちひろば 交流室

⑤ 家族交流会の企画 I care パーク



岩手県子育て支援室
自治体子育て支援センター等協力

(ケ) 県主催運営協議会への参加

毎月参加 (第1回～第10回まで)

事業報告 (相談について、主催事業、研修、訪問等について)

【視察報告】

1. 視察日・視察先

令和5年5月9日(火) 三重大学医学部附属病院 小児・AYAがんトータルケアセンター
三重県医療的ケア児・者相談支援センター

令和5年5月10日(水) にじいろ医療的ケア児支援センター (愛知県地域支援センター)

令和5年5月11日(木) 愛知県医療療育総合センター (愛知県基幹センター)

令和5年5月12日(金) 岐阜県医療的ケア児支援センター

2. 目的

- ・三重県、愛知県、岐阜県の医療的ケア児支援センターの基幹支援センターとしての役割と、各地域に設置している地域支援センター等の役割の違いと連携について知る。
- ・地域支援センターのコーディネーターの役割と処遇、活動内容について知る。地域のコーディネーターの人材育成について知る。また、医療的ケア児等コーディネーター研修修了者との連携について知る。

3. 視察内容

(1) 三重県 三重大学付属病院 医療的ケア児・者相談支援センター

- ・人口約50万規模ごとに災害に取り組んでいる市町を中心に4圏域でネットワークを作った（**そういん・よっかいち・にじいろ・みえる輪**）。
- ・県内で出生した新生児のうち、NICUから医療的ケアがある状態で在宅移行するのは2%。市町ごとに予測値を出し自治体での問題意識を高めている。
- ・実数把握は毎年実施（市町の保健師、文部科学省調査、高校卒業後は独自調査）
- ・医師会、小児科医会、薬剤師会、看護協会、3士会、栄養士会、医療ソーシャルワーク協会、歯科医師会と連携している。
- ・保護者の第一の相談先は医療機関であり、相談支援専門員への相談は全体の1/4。

(2) 愛知県 あいち医療的ケア児支援センター

（愛知県医療療育総合センター療育支援センター地域支援課内）

- ・あいち医療的ケア児支援センターが基幹相談としての役割を担い、**だいどう・青い鳥・あいち・にしおわり・にじいろ・三河青い鳥・信愛**の各医療的ケア児支援センターが地域支援センターとして活動している。
- ・10年前までは重心の民間施設は無く、医師会を中心として11圏域全てに重心施設を整備。これらの重心施設が各圏域で地域支援センターとして拠点を置くこととなった。
- ・医師会に小児在宅に理解のある医師が2人おり、その先生を中心に勉強会を積み重ねたり、地道な活動を行い今の医療的ケア児支援の基礎ができた。
- ・重心施設が無い圏域では病院や高齢者施設を活用し医療的ケア児を受け入れている。
- ・医療的ケア児支援の主体は市町村であることを認識してもらうことが大切。今年度中に窓口を各自治体で特定してもらう予定。

にじいろのいえ

- ・名古屋圏域、知多半島圏域、西三河南部西圏域を担当。
- ・地域によって医療的ケア児の把握に差がある。
- ・行政の窓口がワンストップで課題を拾い上げているが支援センターとの連携が課題である。

(3) 岐阜県 医療的ケア児支援センター・重症心身障がい在宅支援センター「みらい」

（看護協会に事業委託）

- ・平成27年に開所し「みらい」に医療的ケア児支援センターの機能を上乘せして開所。
- ・平成30年に**飛騨地区**、平成31年に**東濃地区**、**西濃地区**にそれぞれサテライトを開所。
- ・開設9年目を迎えるが開設当初は法律もなくコーディネーターの位置付もなかったため理解を得るのに大変苦労した。最近ようやく認知されるようになってきた。

4. 視察を終えて

東海3県は医療的ケア児支援について先進的な地域である。しかしこれらの地域でも今の体制が構築されるまでにおよそ10年を要している。岩手県においては支援センターが設置されてから間もなく1年となるが、地域の体制構築は始まったばかりである。地域の課題を抽出しつつ、支援者が個別支援の成功体験を積み重ね、地域の皆様の理解を得て初めて支援ができる。時間はかかるが一つ一つの事例を丁寧に支援することで地域づくりを支えたい。

【訪問・来所対応】

1. 医療機関

令和4年10月 4日(火) 岩手県立中央病院
令和4年10月 4日(火) 独立行政法人国立病院機構 盛岡医療センター
令和4年10月 4日(火) 日本赤十字社 盛岡赤十字病院
令和4年10月 4日(火) 医療法人葵会 もりおか往診ホームケアクリニック
令和4年10月14日(金) 岩手県立二戸病院
令和4年10月14日(金) 岩手県立久慈病院
令和4年10月26日(水) 岩手県立中部病院
令和4年10月26日(水) 社会福祉法人 済生会 北上済生会病院
令和5年 4月28日(金) 公益財団法人 いわてリハビリテーションセンター

2. 関連団体

令和4年10月 4日(金) 岩手県小児慢性特定疾病児童等自立支援センター
令和4年10月23日(日) 一般社団法人 岩手県訪問看護ステーション協議会
令和4年10月31日(月) 北良株式会社
令和4年12月10日(土) 青森県立小児在宅支援センター
令和5年 1月 6日(金) 一般社団法人 岩手県作業療法士会
令和5年 2月12日(日) 一般社団法人 岩手県医師会
令和5年 3月 7日(火) 公益社団法人 岩手県看護協会
令和5年 4月 7日(金) 一般社団法人 岩手県理学療法士会
令和5年 5月26日(金) 公益社団法人 岩手県栄養士会

3. 行政機関

令和4年 11月1日(火) 岩手県教育委員会 事務局 学校教育室 特別支援教育担当課
令和4年12月14日(水) 岩手県保健福祉部 子ども子育て支援室
令和4年12月14日(水) 岩手県復興防災部 復興くらし再建課
令和5年 1月12日(木) 岩手県保健福祉部 保健福祉企画室
令和5年 6月20日(火) 岩手県盛岡広域振興局保健福祉 環境部 保健福祉環境部
令和5年 6月20日(火) 岩手県県南広域振興局 保健福祉環境部 岩手県奥州保健所

4. 教育機関

令和4年10月14日(金) 岩手県立久慈拓陽支援学校
令和4年11月 8日(火) 岩手県立大学看護学部
令和4年11月 8日(火) 岩手県立大学社会福祉学部
令和5年 3月10日(金) 星槎大学
令和5年 7月27日(木) 岩手県立盛岡となん支援学校

※訪問、来所対応等一部抜粋。関係機関と連携構築のために適宜訪問、来所対応等を行っている。